

ヘルス&ウェルネスパートナーズ(株)

長寿の里「アルメニア」の至宝「ナリネ菌」商品の新展開



社長 綿貫 雅一
わたぬき まさかず
昭和29年生まれ 栃木県出身 慶応義塾大学
学部卒、ベンシルベリア大学大学院博士課程修
了 地域経営学博士、2018年3月社就任
趣味：テニス、洋画鑑賞、若者との交流

長寿の里として知られるコーカサス地方「アルメニア」で1953年に発見され、65年以上の歴史と確かなエビデンスを持つ「ナリネ菌」。その乳酸菌を主成分とするサプリメントの普及に当たるのは、40年に渡り長く途上国支援に従事してきた国際経験豊かな綿貫雅一代表が、2018年3月に設立したヘルス&ウェルネスパートナーズ株式会社だ。

設立に当り、アルメニア独立時に「ナリネ菌」の生産を譲渡された当時のビタマックスE社(現ビタウェイ社)とナリネ商品の国際販売を一手に展開するGPTレイド社との共同事業として、「腸内環境」に注目が集まる日本市場に本物の力を持つ「ナリネ菌」を投入し、更にアジアへの普及推進を目指す。

にも使われ顕著な成果を挙げている。そのようなことから、WHOやロシア科学アカデミー食品研究所でも優れた補助食品として推奨されている。

設立以来、「ナリネ菌」を主成分とするナリネ菌100%配合の「ピュア・ナリネ」や「ナリネ菌」と21種類の果物の栄養素を配合した米国生まれの「フルーツマックス」など6種類を年齢や体質に合わせて選択できるアイテムを揃えている。また国内の製菓や食品メーカー向けにナリネ粉末の提供も実施。

現在、日本人には馴染みの深い完全食に近いといわれる「玄米」と「ナリネ菌」をブレンドした「ナリネ玄米」爽快スティックの開発に注力。既に食品メーカーなどからも引き合いが来ており、「日本の食」を売りにした秋の国際展示会への出展も予定されている。

冒頭に述べたように、40年に渡る幅広い国際経験を持つ綿貫社長。その国際感覚を生かして、中期計画として、日本の高度先進医療受診を望むア

「ナリネ菌」とは、アルメニアの微生物学者・エルゼンキヤン博士が、孫娘「ナリネ」の胎便から特に耐酸性、抗菌力に優れた乳酸菌として発見した。数年後、重い腸炎に罹った「ナリネ」にこの乳酸菌を投与すると見事に回復したことから、通称「ナリネ菌」と呼ばれるようになった。プロバイオティクスとしての優れた特質と機能性を持つ「ナリネ菌」は、ビフィズス菌に代表される数10種と言われる乳酸菌の中でも最も有効な乳酸菌として、世界10数ヶ国に輸出され、累計700万個の販売実績を誇る、まさに世界に認められた乳酸菌だ。

発見以来、旧ソ連や東欧諸国では、健康維持はもとより、乳幼児からお年寄りまで幅広く多くの人々に親しまれてきた。またオリンピック選手への健康維持、チェルノブイリ原発事故の被爆者の治療

アジアや東欧諸国からの患者や家族が安心して来日し、希望する医療を受診できる国際医療業務サービスを国内の医療機関との連携の下、展開する計画も立案中だ。

「ナリネ菌」の日本での普及を足掛かりに、成長著しいアジアの新興国や北米市場への進出も視野に入れる綿貫社長の狙いの中には、自らが育てた日本のグローバル人材に活躍の場を提供する青写真もある。今後の動向に注目したい。

会社データ

本社所在地 東京都新宿区高田馬場3-2-14-204

電話番号 03(6279)1058

設立年月 2018年3月

資本金 500万円

事業内容 健康食品製造・販売、国際医療業務支援等

ホームページ <http://www.hmpartners.co.jp>